

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年11月27日

【2017年11月18日～2017年11月24日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対米ドル、対円で上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。

テメル大統領は年金改革法案の承認に向けて、活発な議会仕事を展開しました。内閣改造の一環として、空席となっていた都市相にマイア下院議長が推薦するパウジー下院議員を指名し、連立与党の一角で同議長の所属する民主党 (DEM) からの支持拡大を図りました。また、大統領とメイレス財務相は300名もの下院議員を晩餐会に招き、改めて同法案への支持を訴えました。

こうした活動の結果、12月5日(現地、以下同様)に下院での法案審議、翌6日に本会議での採決を行う方向で大統領と下院議長が暫定的に合意したと報道されました。ブラジル金融市場では、具体的な採決の日程が設定されたことが、政府が法案可決に必要な賛成票の確保に自信を深めつつある証拠として好感され、為替、債券ともに堅調に推移しました。

【2】今週の見通し

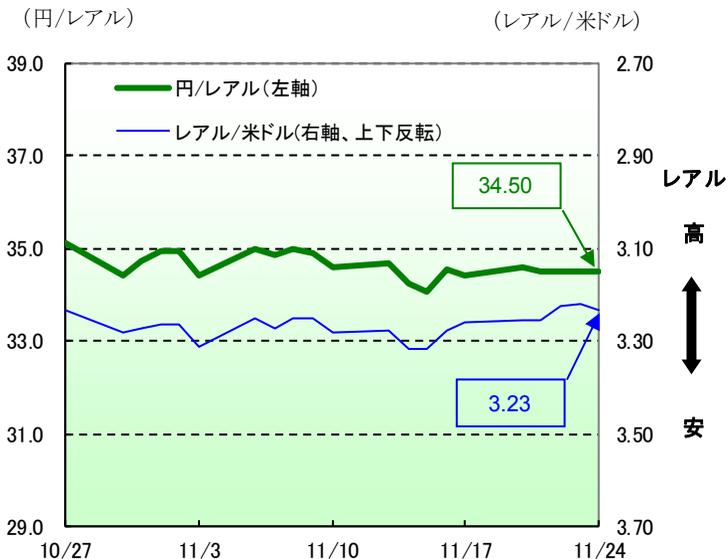
採決の日程は具体化してきましたが、依然として政府は下院での法案可決に必要な308票を確保できていないとの見方も根強く、今週も引き続き大統領らによる積極的な多数派工作が行われるものと想定されます。

政府は年金改革の根幹部分(最低退職年齢の導入とその移行期間、民間企業労働者と公務員の年金制度統合)に絞った法案成立を目指していますが、年金改革の原案では男性65歳および女性62歳とされた最低退職年齢について、男性60歳および女性58歳に引き下げる妥協案も検討されている模様です。財政再建の効果は一段と低下するものの、国民に痛みを強いる改革を先送りすることで、2018年に議会選挙を控えた下院議員の支持を集めやすくすることが狙いとみられます。

経済指標につきましては、12月1日に2017年7-9月期実質GDP成長率が発表される予定です。市場予想では前期比+0.3%、前年比+1.4%程度の経済成長が見込まれており、ブラジルが安定的な景気回復軌道をたどっていることが確認できるかが注目されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】

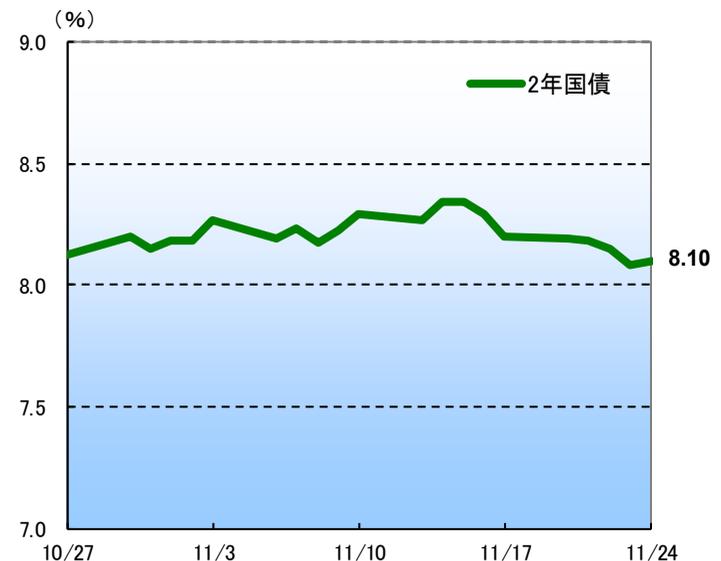
(2017年10月27日～2017年11月24日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2017年10月27日～2017年11月24日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>